

保護者負担軽減計画について

< 京都府提出資料 >

学校名	立命館宇治高等学校
所在地	宇治市広野町八軒屋谷33番1
電話番号	0774-41-3000

(1) 建学の精神	立命館の建学の精神「自由と清新」と教学理念「平和と民主主義」に基づき、卓越した言語能力に基づく知性と探究心、バランスのとれた豊かな個性、正義と倫理に貫かれた寛容の精神を身につけた未来のグローバルリーダーを育成し、世界と日本の平和的発展に貢献することを教育目標とする。																																										
(2) 本校の特色及び 将来展望	立命館大学・立命館アジア太平洋大学との接続・連携を図る中・高・大の一貫教育のもと、「世界に通用する教育」を推進。平成21年関西一条校初のIB-DP（国際バカロレア・ディプロマ・プログラム）実施校の認定を受け、海外大学への推薦・受験資格が得られる教育課程を持ち、高い到達点を築いている。また、平成26年度には、文部科学省のスーパーグローバルハイスクールに指定された。これに続き、令和元年度に、文部科学省のWWLコンソーシアム構築支援事業の基幹校として選定された。コースは、IG・IB・IMに分かれる。少人数の英語教育および第二外国語教育をはじめ、大学や企業等社会の様々な分野の協力・連携により実践的な教育を行なっている。文化系・運動系とも部活動が盛んで、数多くのクラブが全国水準の成果を上げている。引き続き、グローバル教育の一層の進展を図ると共に、高い基礎学力と探究力を育成し、国際社会に大きく貢献できる人材を涵養する。																																										
(3) ・ 令和8年度納付金 ※学科やコースによって 納付金に差異がある場合 は最低額を計上。 ・ 今回改定 <u>あり</u> なし ・ 前回改定 平成22 年度	<table><tr><td>【1年生】</td><td>入学金</td><td>施設拡充費 (入学時)</td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計 (入学時除く)</td><td>考查料</td></tr><tr><td></td><td>120,000</td><td>0</td><td>681,000</td><td>313,000</td><td>994,000</td><td>20,000</td></tr><tr><td>【2年生】</td><td></td><td></td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>638,000</td><td>291,000</td><td>929,000</td><td></td></tr><tr><td>【3年生】</td><td></td><td></td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>638,000</td><td>291,000</td><td>929,000</td><td></td></tr></table> *施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考查料		120,000	0	681,000	313,000	994,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					638,000	291,000	929,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					638,000	291,000	929,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考查料																																					
	120,000	0	681,000	313,000	994,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			638,000	291,000	929,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			638,000	291,000	929,000																																						
・ 今後の納付金に 対する考え方	今後の納付金については、多様な自主財源確保の追求、内部管理経費の削減、省エネルギーへの積極的な取り組みを校内でさらに進め、教育水準の維持・向上を図りつつ、財務体質を強化する議論とともに検討していく。																																										
(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況	探究の学びにおいて年々その学びの深さが強みを増している。IGコースのコア探究、IMコースのGLS、IBコースのCASをはじめとするコア科目での取り組みは、学外からも高い評価を受けている。また、模擬国連、“SURVIVE”などのイベントや起業キャンプなどを主催して開催し、国内外の他校生徒との交流も進めるとともに、生徒の豊かな学びを支援することができた。施設面においては、キャンパス移転後20年を経過し、不具合が生じている個所を優先的に改修し、また省エネに配慮した照明のLED化を前年度に引き続き、年次計画的に実施している。																																										
(5) 令和8年度の保護者 負担軽減策及び考え方	国や京都府をはじめとする各行政の授業料支援制度を適正に事務処理を行いつつ、同時に、本校独自の奨学金制度も広く案内し実施する。 なお、従前からの本校独自の主な奨学・修学支援制度は以下の通り。 ・ 川田平八郎奨学基金 また、勉学に励んでいる生徒に対する本校教育後援会の学術奨励賞の表彰（副賞として現金給付）を引き続き行っていくよう同後援会に要請していく。																																										
(6) 今後5年程度の保護者 負担軽減計画	本校では、IBコース費の増額を除き、平成22年度以降、納付金を据え置いてきた。その間、教育内容の充実および財務体質の強化に取り組んできたが、高校部門単体では慢性的な赤字が続いている状況にある。 この課題を解消するため、生徒寮の運営方法の見直しなどにより、財務体質の大幅な改善を進めるとともに、今後5年間の収支見通しを踏まえ、令和8年度新入生から授業料等の納付金を改定することとした。 これらの取り組みにより学校経営環境を安定させ、当面新たな保護者負担が生じることのないよう、計画的な運営を進めていきたい。																																										